

Knock
art10



第10回埼玉県障害者アート企画展 概要

展覧会名	「knock art 10 ―芸術は無差別級―」
会期	2019.12.4 (Wed) ~8 (Sun)
会場	埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2
キュレーター	中津川 浩章 (美術家)
主催	埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O 社会福祉法人みぬま福祉会 ※「埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±O」とは 埼玉県内の障害者アートに取り組む福祉施設・事業所がつくったネットワークです。 「TAMAP」には「埼玉をもっとアップ(向上)していきたい(SAITAMA+UP)」と いう意味が込められています。
共催	埼玉県
後援	JR東日本大宮支社 (以下50音順) 上尾市、春日部市、川口市、川越市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、さいたま市、白岡市、秩父市、所沢市、戸田市、新座市、東松山市、日高市、蓮田市、三郷市、皆野町、吉川市、嵐山町
協力	アートセンター集協力委員 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会 con*tio
助成	令和元年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業

福祉とアートはある意味では水と油です。アートは才能やクオリティ、希少性に意味と価値を見出していく部分があり、一方福祉は公平性や平等性そして日々の暮らしの安定に価値を置いている。一見すると水と油のように見える福祉とアートは、対極にあるそうした外側の価値観ではなく内側の、さらにもう一步深い場所での出会いがあります。

さまざまなことが不自由な生きづらい人にとって、表現することはとても深いコミュニケーションの方法です。コミュニケーションと芸術の間を横断しながら生まれてくる作品の数々は見る者を強く揺さぶります。独特のビジョン、ひたすらポップな世界を貫く作家、綿密な写実性、内面を深く掘り下げた作家、折りの思いが形になったもの、行為性を積み重ねたものなど。どの作品も、障害があるのにはではなく、障害があるからこそその生きるエネルギーに満ちています。人間が表現することの原点がここに 있습니다。

何かを説明するためにではなく、線を描くという行為それ自体にどういう意味があるのか。外側の規範によらず感じたままの形を描き色彩を描くということの意味はどこにあるのか。人間が表現するということは根源的にどのようなことなのか。1万5千年前のラスコーの洞窟壁画が投げかける問いと重なってきます。

埼玉県障害者アート企画展は、埼玉県内の30団体以上の福祉施設と協働しつくり上げてきた展覧会です。150点を超える作品はアートやデザイン、教育などの専門家に加えて、各福祉施設のスタッフが対話を重ねながらセレクトしたものです。このことはこの展覧会を特別なものにしています。

たとえば、障害者のドローイング作品には「スクリブル」系と呼ばれる類型があります。まるでなぐり書きのような作品、一見すると誰のものでも同じふうに見えます。しかし、よく見ると一人ひとりの作品は似ているようで違ってきます。色彩、線の太さ、力の強弱、素材の重なり方、画面のどこに描くか、どれくらい画面を意識しているか、主体的に描いているのかなど、細かい差異の中に入っていくとそこには繊細なヴァリエーションの世界が広がっています。さらによく見れば、同じ作家であっても制作した日の体調や状況などの要因によって作品は変化しているのです。その差異の感覚を捕らえ、ひとつの価値として認識し、作品として展示していく。こうした流れは、日常的に障害者と接している施設スタッフが携わっているからこそ成立した展示であると言えます。

本展は今年で10回目を迎えました。埼玉県の「障害のある方の表現活動状況調査」をもとに2012年から3年間、本展のディレクターとして施設や制作者の自宅を調査してまわりました。そこで目にした膨大な数の作品は、まさに玉石混交。障害のある人の表現の広さと深さを思い知らされました。そして人材育成とネットワークの構築を目指し、福祉施設スタッフなどを対象にワークショップを重ね展覧会をつくり上げてきました。そのメンバーが中心となって2016年に埼玉県障害者アートネットワークTAMAP土〇を立ち上げ、厚生労働省と埼玉県から助成を受け障害者芸術文化活動普及支援事業として本展を継続しています。

2018年には「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、2020年のパラリンピック開催に向けてもさまざまな取り組みが日本全国で行われています。障害者アートをめぐる環境はますます変化し開かれていくことでしょう。

キュレーター

中津川 浩章

作家一覧（掲載頁索引）

9	相田 大希	1985	鴻巣市		榎本 雅俊	1991	戸田市
	青木 悟	1983	川越市	18	EMI	1980	行田市
10	浅見 翔吾	1989	秩父市		大串 憲嗣	1968	川口市
	阿部 香織	1984	春日部市	19	大倉 史子	1984	川口市
11	阿部 美幸	1981	川口市		大塚 理温	1999	吉川市
	阿部 唯人	1997	戸田市	20	大森 郁夫	1946	秩父市
12	天宮 奈美	1988	川島町		大和田 恭子	1965	杉戸町
	新井 貴道	1982	久喜市	21	岡田 亜弓	1984	川口市
13	新井 秀治	1953	上尾市		尾崎 翔悟	1988	川口市
	荒川 陽子	1973	所沢市	22	小幡 海知生	1969	上尾市
14	石井 章	1957	鶴ヶ島市		片波見 知代	1976	川口市
	石井 健知	1996	三郷市	23	勝山 直斗	2006	さいたま市
15	石井 陸渡	1994	三郷市		金井塚 順一	1970	戸田市
	今村 拓雄	1994	川越市	24	金子 慎也	1989	川口市
16	岩井 美和子	1977	蓮田市		金子 凛太郎	1997	秩父市
	卯月 寛	1984	川島町	25	鹿山 直紀	1996	川口市
17	梅澤 勝典	1980	川口市		河野 孝之	1978	川島町

									collection 2019
26	菅家 沙織	1990	川口市			佐々木 省伍	1967	白岡市	
	北田 哲也	1997	所沢市		35	佐藤 小春	1994	美里町	
27	木元 一郎	1959	熊谷市			椎橋 豊	1975	新座市	
	工藤 蒼	2005	桶川市		36	四ノ宮 景	1980	所沢市	
28	けいこ	1965	久喜市			嶋田 怜真	1994	比企郡小川町	knock art 10
	K・S	1988	三郷市		37	シュウシュウ	1989	三郷市	
29	小泉 哲也	1981	秩父市			菅原 陽子	1967	熊谷市	
	河野 大典	1981	本庄市		38	鈴木 祥太	1990	鴻巣市	
30	てつ	1984	北本市			簀戸 彩子	1985	新座市	
	小林 昭夫	1933	東松山市		39	関 翔平	1990	川口市	
31	小林 一緒	1962	三郷市			関口 エイ子	1952	秩父市	5
	小林 春介	1985	川島町		40	関谷 由美子	1949	蓮田市	
32	小林ちゃん	1993	さいたま市			平良 雅敏	1980	嵐山町	
	斉藤 淳太	1996	川口市		41	高野 博史	1973	さいたま市	
33	斉藤 進	1948	春日部市			高野 穂	1996	さいたま市	
	斉藤 勇真	1991	戸田市		42	高橋 奈美	1985	東松山市	
34	さかいとも	1963	秩父市			高橋 裕子	1963	上尾市	

collection	2019	knock art 10				knock art 10			
		no.	name	year	city	no.	name	year	city
		43	高山 大輔	1979	川口市		成瀬 あゆみ	1988	川口市
			武石 トシ子	1942	川口市	52	成宮 咲来	1984	川口市
		44	田島 絵里	1985	川口市		西川 泰弘	1960	川口市
			田島 良子	1960	美里町	53	納田 裕加	1966	川口市
		45	田中 信之	1947	上尾市		NODA	1971	さいたま市
			田村 智宥	1994	蓮田市	54	野田 勇人	1963	吉川市
		46	土屋 莉恵	1983	蓮田市		NOBU	1972	川越市
			鶴巻 棟明	2000	本庄市	55	野村 真優子	1996	熊谷市
		47	利根川 シヅ子	1944	嵐山町		野本 竜士	1971	川口市
			富田 聖治	1959	秩父市	56	長谷川 秀平	1999	鴻巣市
6		48	なお丸	1986	さいたま市		長谷川 昌彦	1984	川口市
			永井 洋一	1973	所沢市	57	羽生田 優	1984	川口市
		49	仲川 涉	1993	入間市		林 直登	1970	川口市
			長澤 章	1974	戸田市	58	林 良樹	2001	久喜市
		50	中沢 潤	1988	三郷市		原口 めぐみ	1984	行田市
			並木 信弘	1964	熊谷市	59	平川 寛隆	1990	川口市
		51	成本 忠臣	1971	白岡市		福島 尚	1970	日高市

60	福田 栄行	1973	川越市		山口 由紀子	1964	東松山市
	藤井 隆亨	1974	川越市	69	山崎 恵一	1972	秩父市
61	藤崎 香織	1987	川越市		山崎 利之	1980	さいたま市
	堀口 孝一	1934	秩父市	70	ヤマダジュンヤ	1983	春日部市
62	前田 貴	1970	川口市		山田 麻紀子	1988	所沢市
	前田 聡男	1966	熊谷市	71	ユキウサギ	1971	新座市
63	松崎 悠希	1993	本庄市		陽遊 直貴	1991	秩父市
	松田 良雄	1967	戸田市	72	横井 雅美	1968	春日部市
64	緑川 悠貴	1989	川口市		横田 和明	1983	上尾市
	宮澤 武雄	1951	川越市	73	横山 涼	1988	川口市
65	村田 裕樹	1988	三郷市		吉川 健司	1977	東松山市
	めいめい	2001	草加市	74	吉川 千晶	1985	川口市
66	森川 里緒奈	1998	東松山市		樹	1996	久喜市
	筋内 裕樹	1985	川口市	75	吉野 美代子	1959	行田市
67	柳 万喜子	1961	上尾市		力也	1997	さいたま市
	山岸 詢	1993	白岡市	76	渡邊 あや	1987	川口市
68	山口 敏夫	1942	東松山市				

n	name	t	title
---	------	---	-------

Knock art 10

作品

n	name	t	title
---	------	---	-------



n 浅見 翔吾(あさみ しょうご)

t 「車」



n 阿部 香織(あべ かおり)

t 「わたしのともだち」

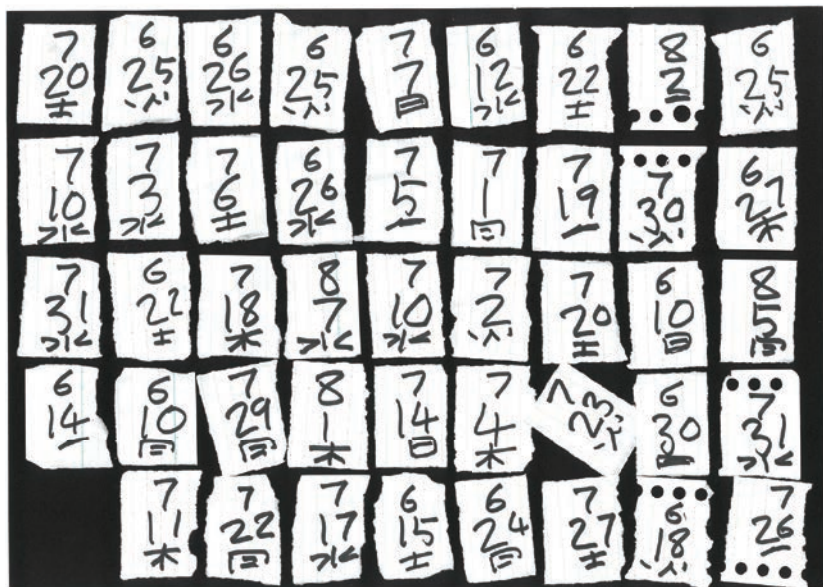
n 天宮 奈美(あまみや なみ)

t 「チョキチョキ★ペタペタ」



n 新井 貴道(あらいたかみち)

t 「頭の庭」



n 石井 章 (いしい あきら)

t 「ダルメシアン」



n 石井 健知 (いしい けんじゅ)

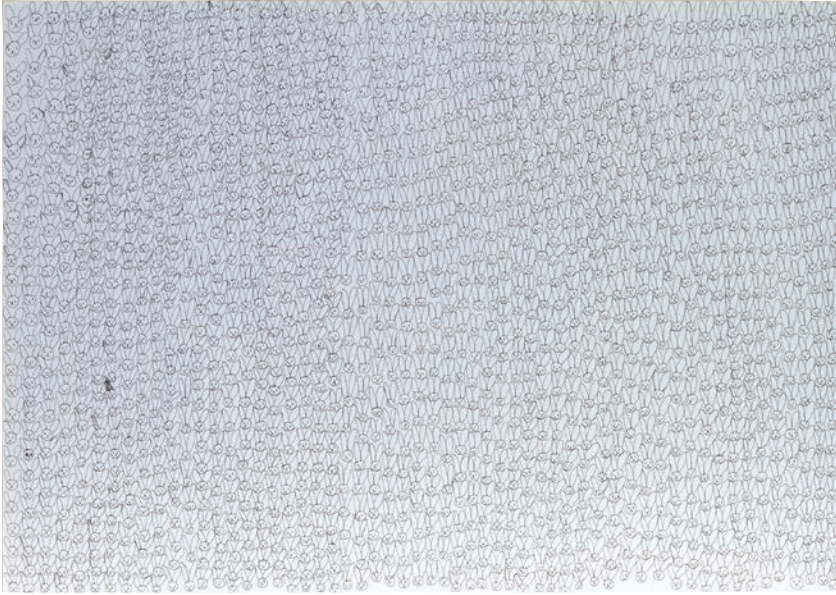
t 「アルミ要塞」



イマワタワオタマホームに郷店NEC
 ートパワフルチューブ坂46
 お掃除ユニットアスレチック
 ネオバトルロボワールド
 ザウスオザデッドZバス尚美学園大学

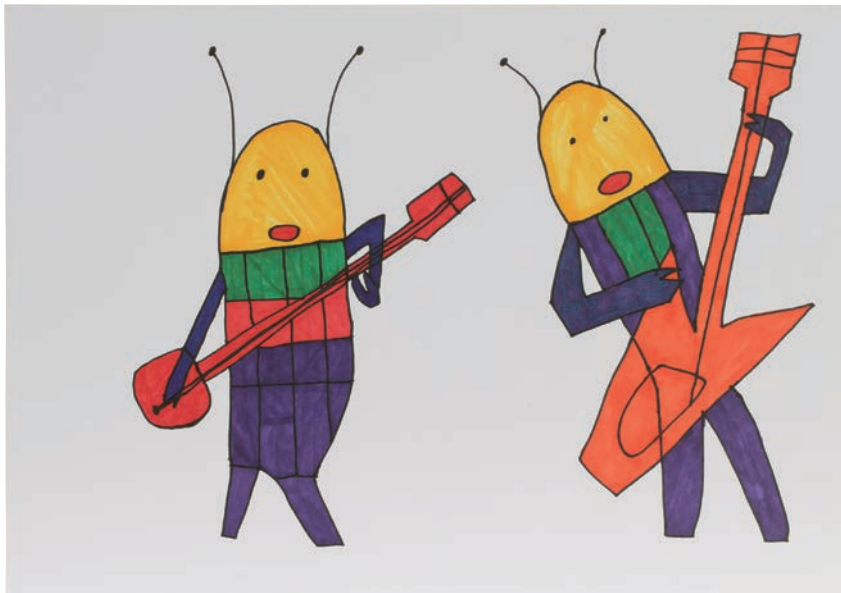
n 岩井 美和子 (いわい みわこ)

t 「うさぎ」



n 卯月 寛 (うづき ひろし)

t 「龍」



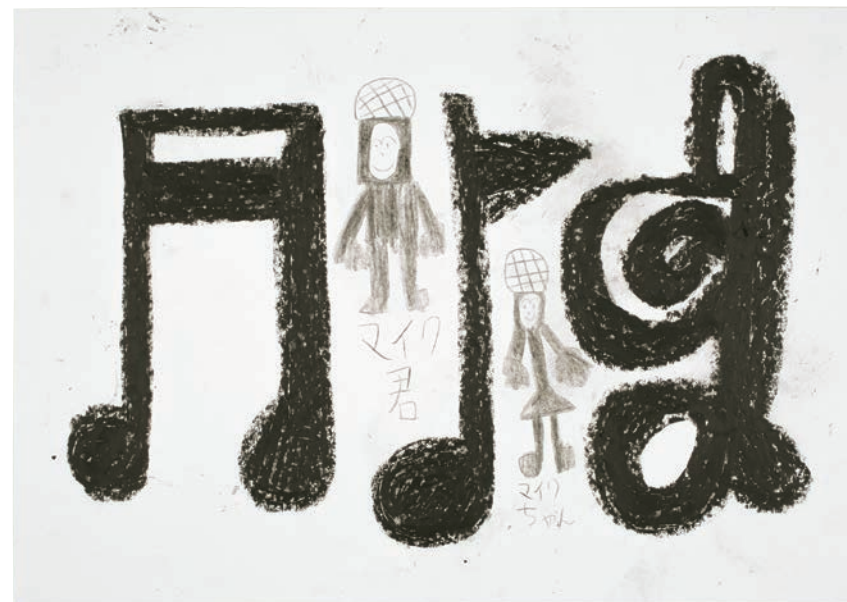
n EMI(えみ)

t 「夢いっぱいの世界へ出発だ」



n 大串 憲嗣(おおぐし けんじ)

t 「かき」



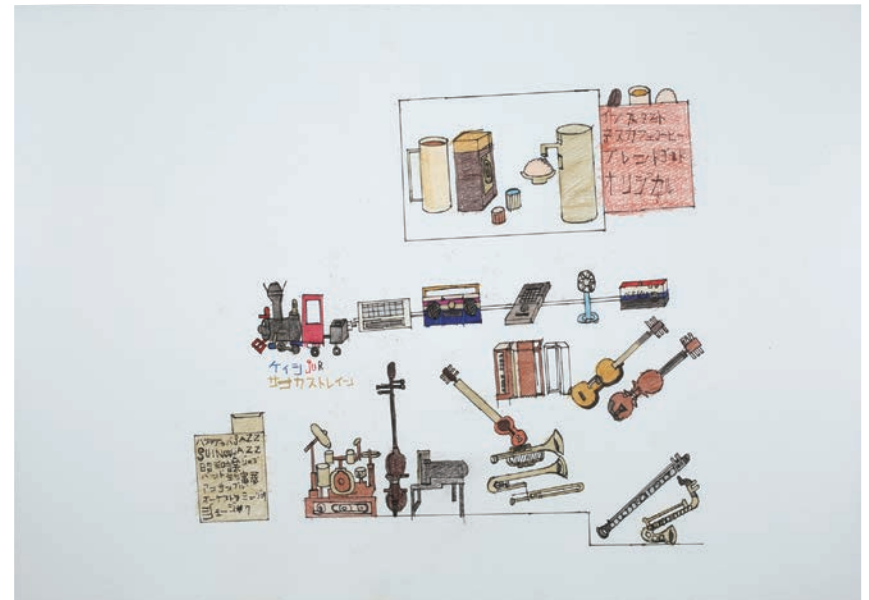
n 大森 郁夫(おおもり いくお)

t 「桜」



n 大和田 恭子(おおわだ きょうこ)

t 「ペロペロ」



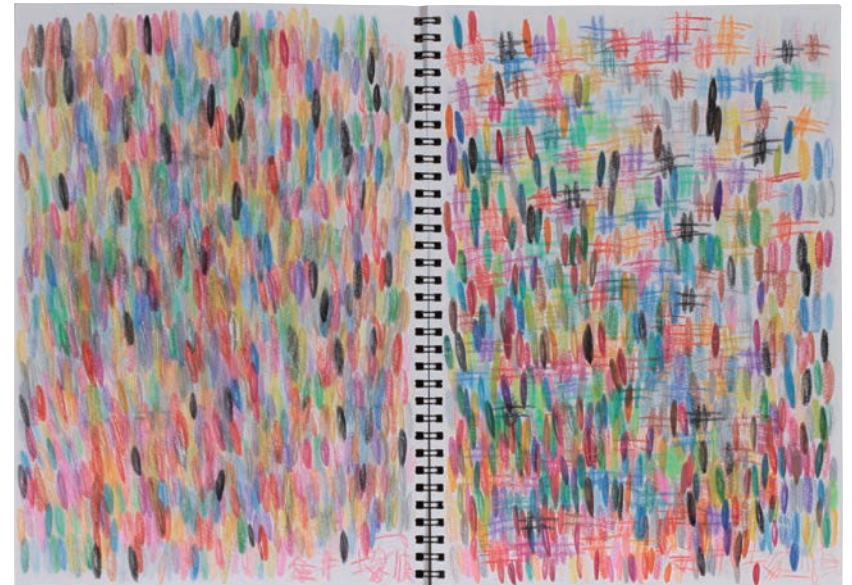
n 小幡 海知生(おばた みちお)

t 「海のなかま」



n 片波見 知代(かたばみ ともよ)

t 「飛び込みプール」



n 金子 慎也(かねこ しんや)

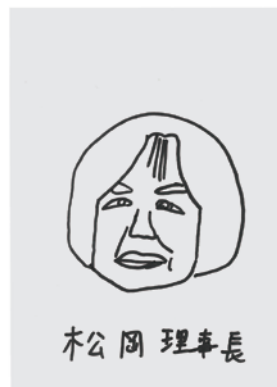
t 「ニギリ」



n 金子 凛太郎(かねこ りんたろう)

t 「くらげ」





n 菅家 沙織 (かんげ さおり)

t 「Untitled」



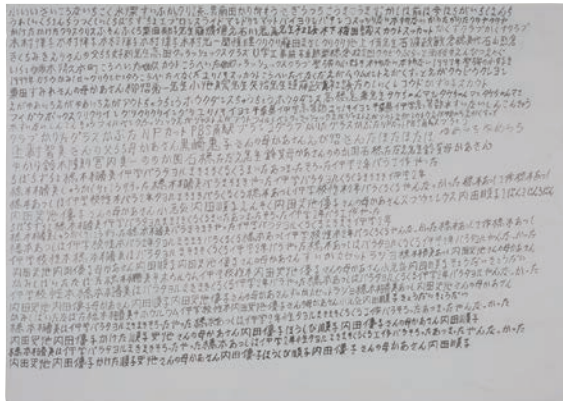
n 北田 哲也 (きただ てつや)

t 「ヘラクレスオオカブト」



n | けいこ

t | 「小さいころ小さいころ」



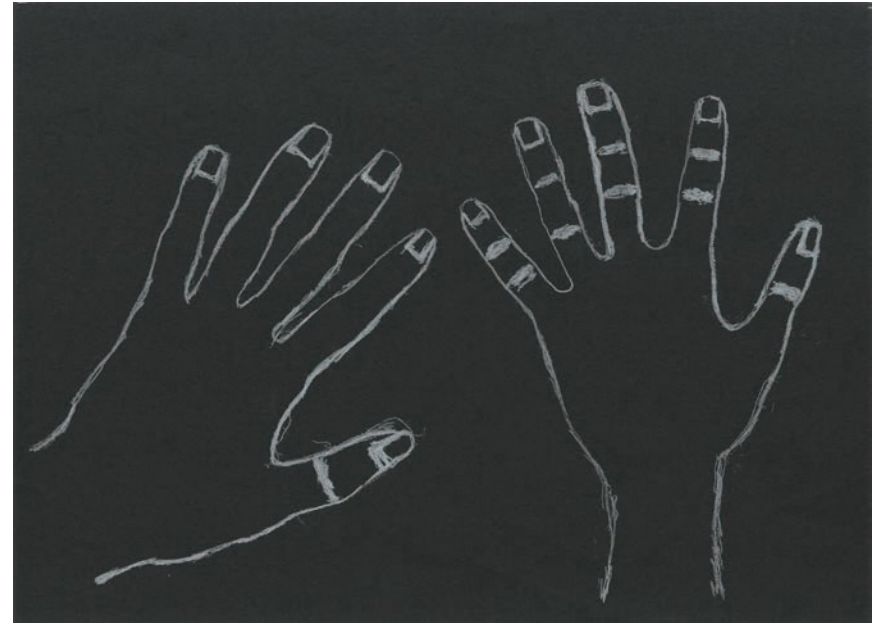
n | K・S(けいえす)

t | 「婦警」



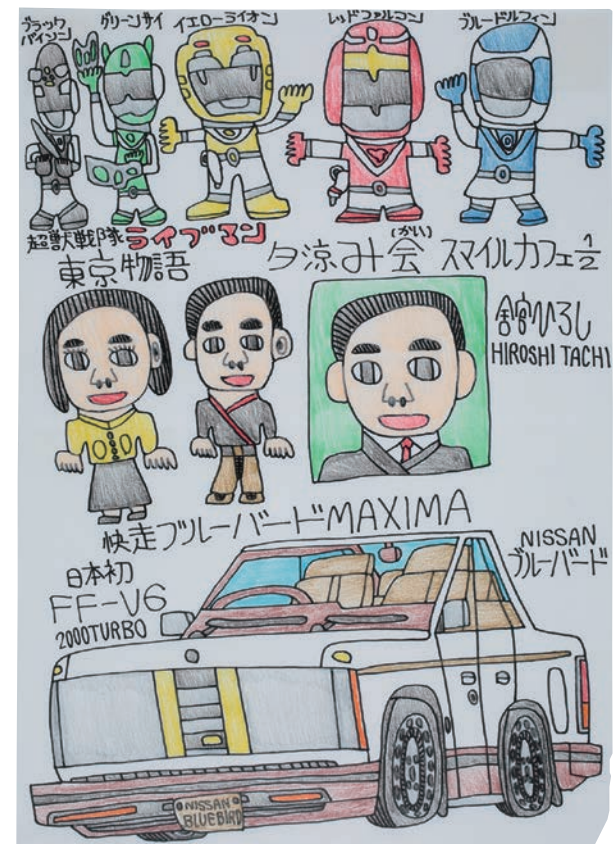
n | てつ

t | 「さんま」



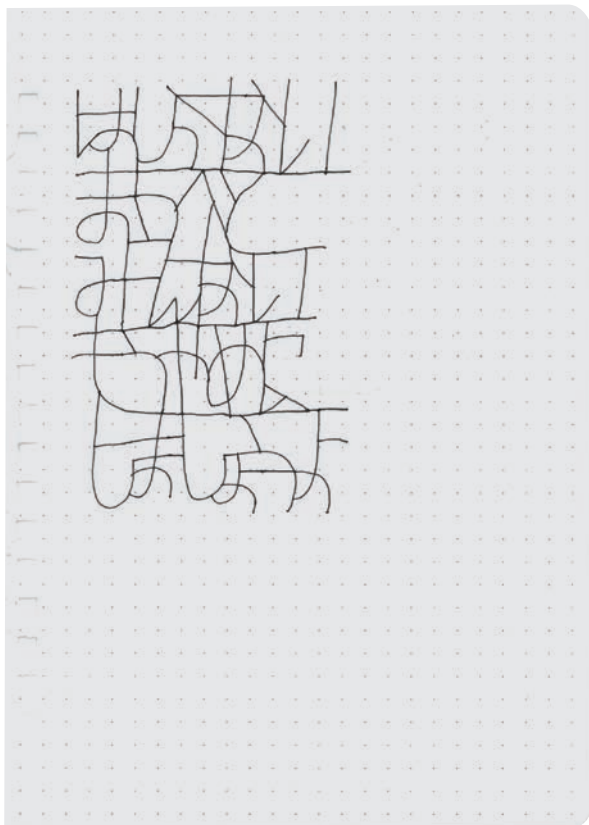
n | 小林 昭夫(こばやし あきお)

t | 「手」



n 小林ちゃん(こばやしちゃん)

t 「無題」



n 斉藤 淳太(さいとう じゅんた)

t 「機関車のなかまたち」



n | さかいとも

t | 「うさぎ」



n | 佐々木 省伍 (ささき しょうご)

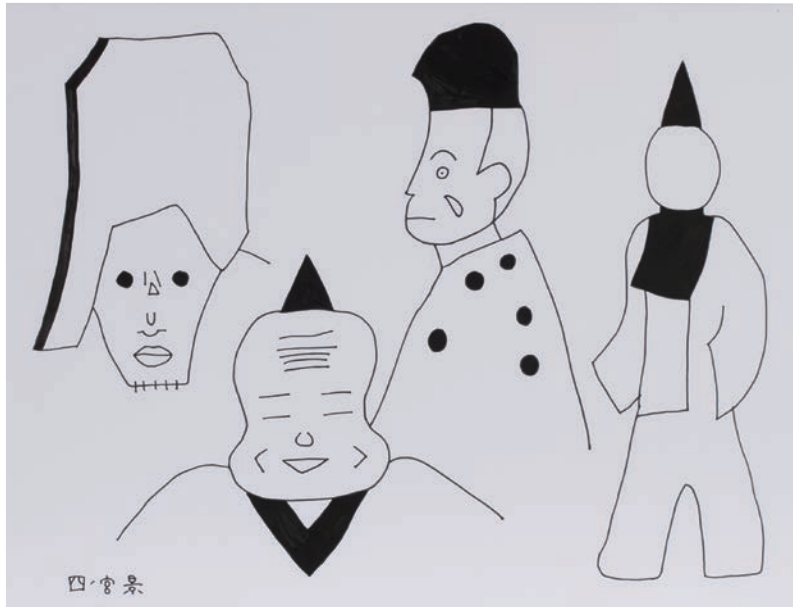
t | 「Untitled」





n 四ノ宮 景 (しのみや けい)

t 「貴族たち」



n 嶋田 怜真 (しまだ りょうま)

t 「ぼくの好きなもの」



n 菅原 陽子 (すがわら ようこ)

t 「無題」



n シュウシュウ

t 「山」

n 鈴木 祥太(すずき しょうた)

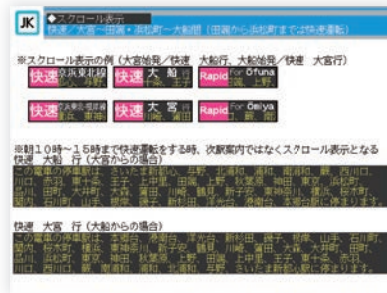
t 「森の中のシン神様」



n 簀戸 彩子(すど あやこ)

t 「恐竜」





n 関谷 由美子 (せきや ゆみこ)

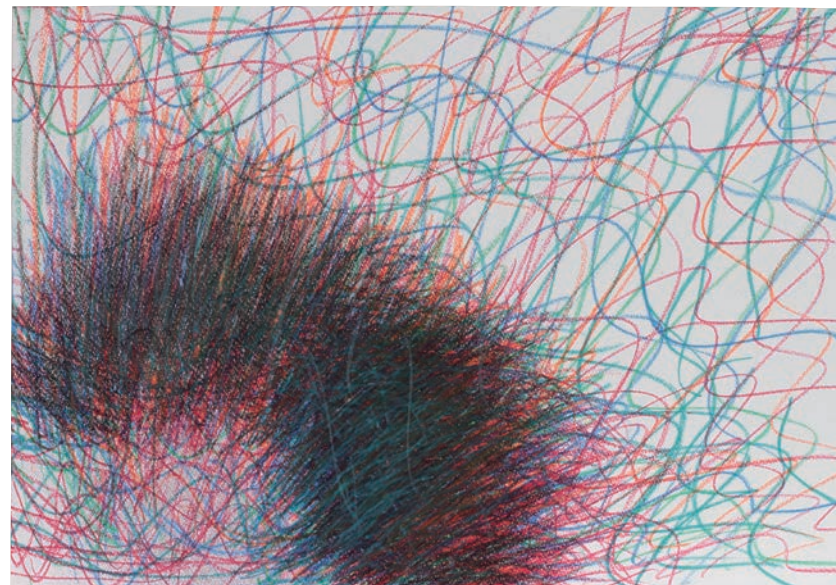
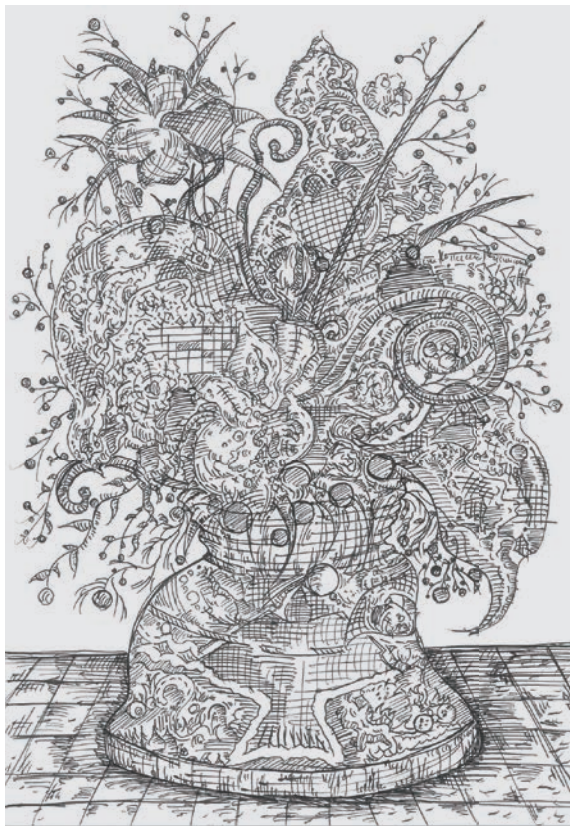
t 「山」



n 平良 雅敏 (たいら まさとし)

t 「イチゴ畑」





n 高橋 奈美(たかはし なみ)

t 「動物」

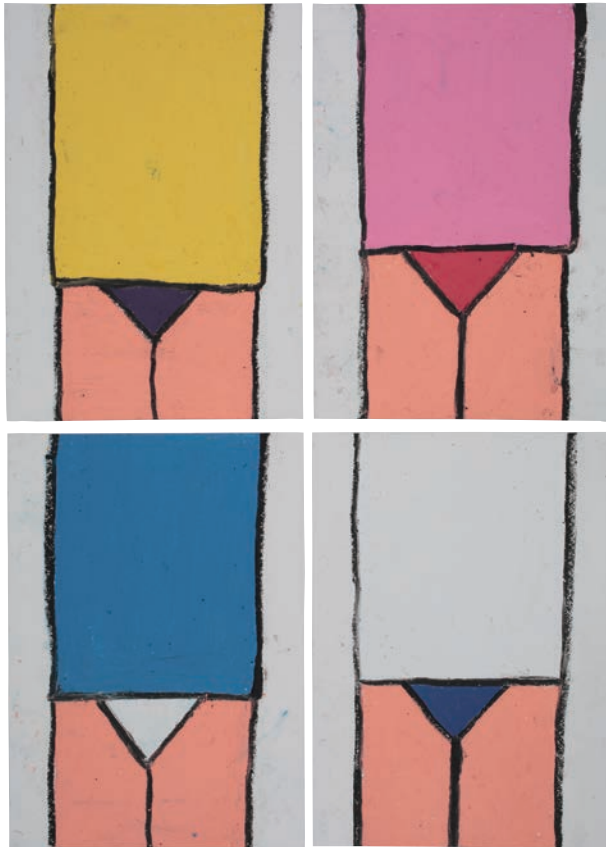


n 高橋 裕子(たかはし ゆうこ)

t 「無題」

n 高山 大輔 (たかやま だいすけ)

t 「みんなだ」

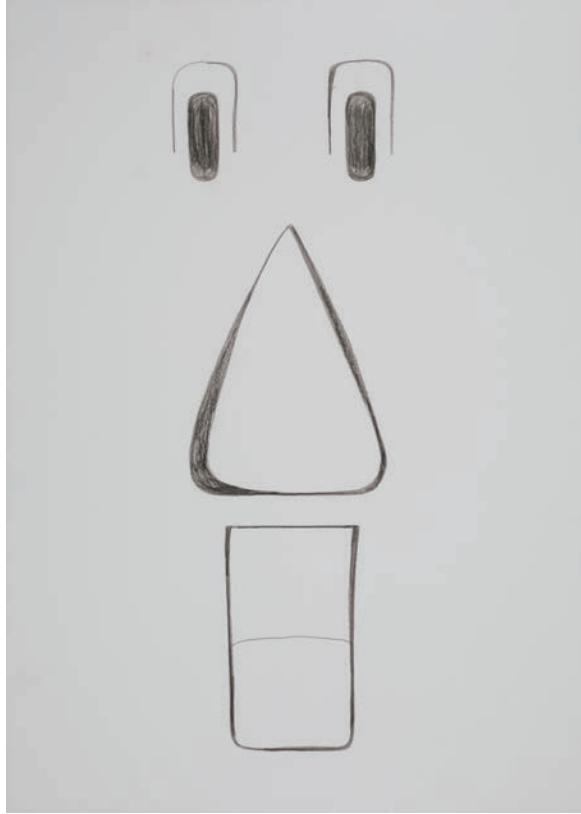


n 武石 トシ子 (たけいし としこ)

t 「舞妓さん」

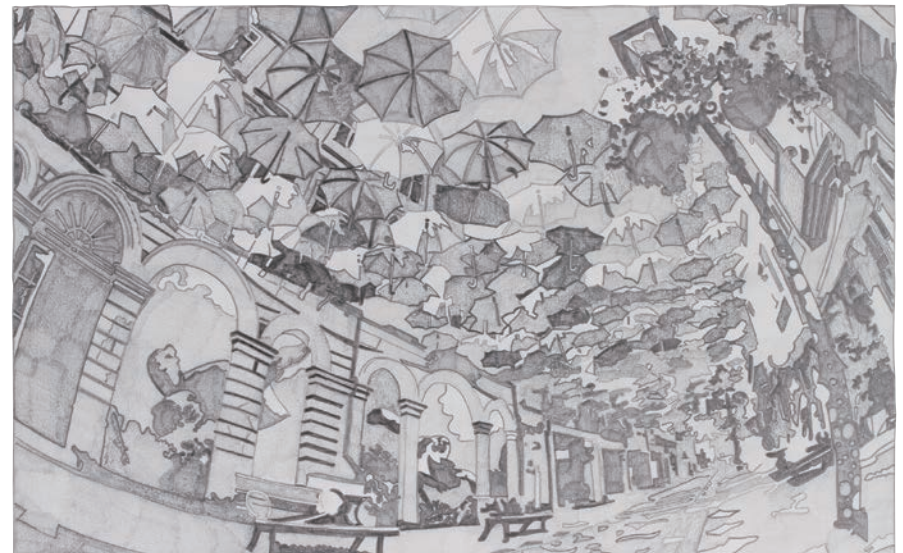
n 田島 絵里 (たじま えり)

t 「Untitled」



n 田島 良子 (たじま よしこ)

t 「青春の記憶」



n 土屋 莉恵(つちや りえ)

t 「空」



n 鶴巻 棟明(つるまき むねあき)

t 「無題」





n | なお丸 (なおまる)

t | 「異の職」

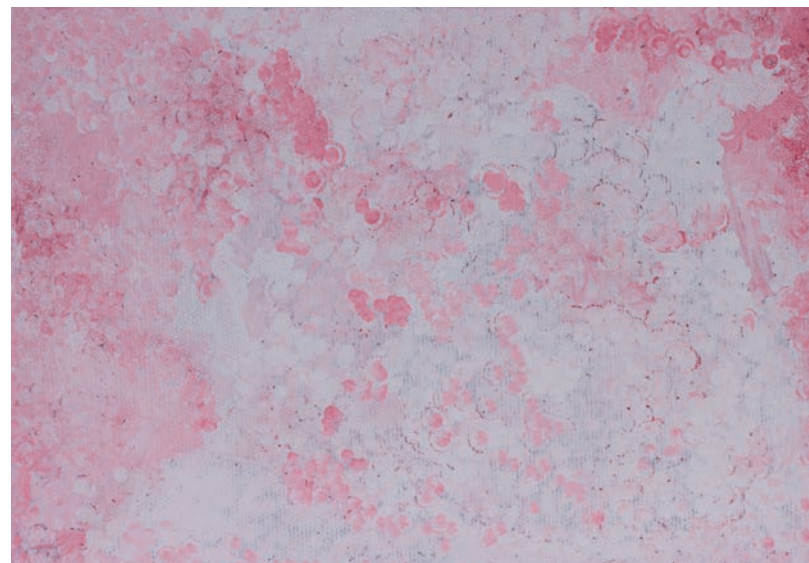


n | 永井 洋一 (ながい よういち)

t | 「花」

n 仲川 渉(なかがわ わたる)

t 「梅小路蒸気機関車館」



n 長澤 章(ながさわ あきら)

t 「無題」

n 中沢 潤 (なかざわ じゅん)

t 「ブドウ」



n 並木 信弘 (なみき のぶひろ)

t 「無題」





n 成宮 咲来(なるみや さくら)

t 「さくらハート」



n 西川 泰弘(にしかわ やすひろ)

t 「Untitled」





n 野田 勇人(のだ はやと)

t 「無題」



n NOBU(のぶ)

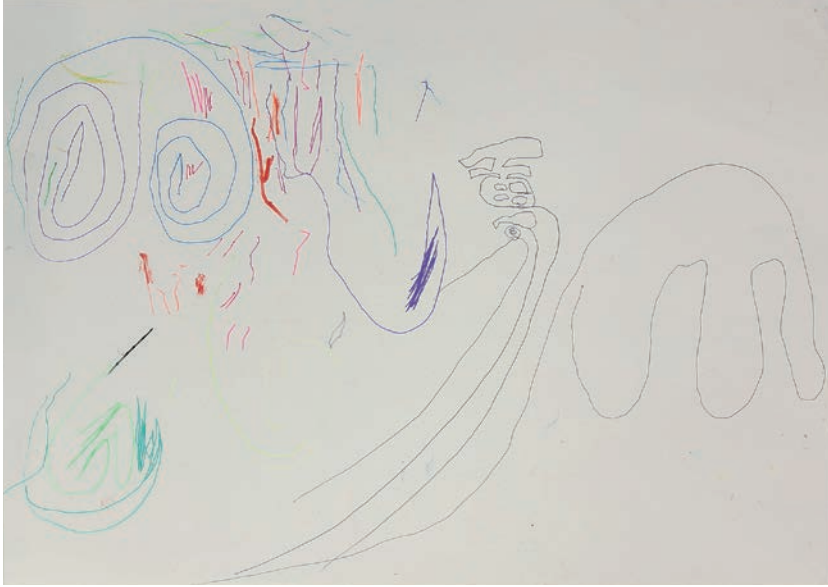
t 「ひまわり」





n 長谷川 秀平 (はせがわ しゅうへい)

t 「無題」



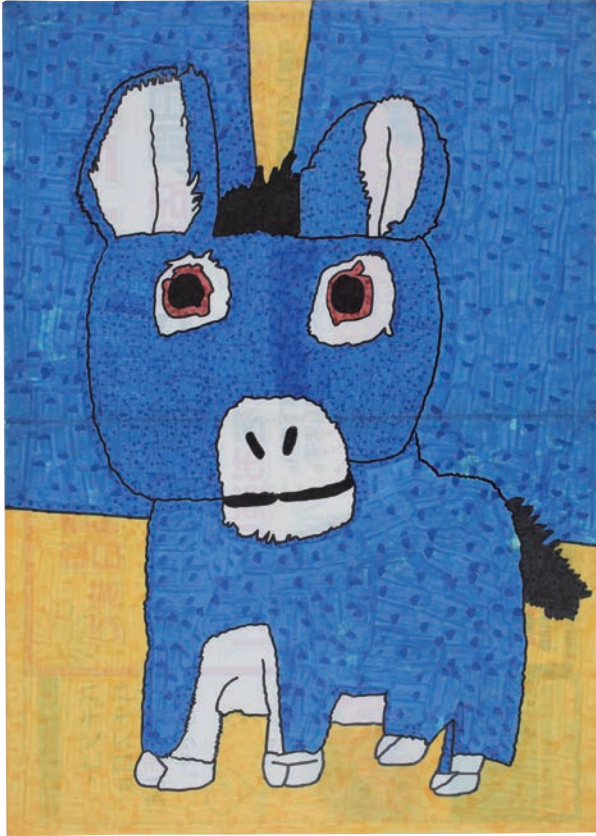
n 長谷川 昌彦 (はせがわ まさひこ)

t 「ハンダの延べ棒」



n 林 良樹 (はやし よしぎ)

t 「ロバ」



n 原口 めぐみ (はらぐち めぐみ)

t 「銀色の猫さんと犬、鳥」





n 福田 栄行(ふくだ よしゆき)

t 「飛行機」



n 藤井 隆亨(ふじい たかゆき)

t 「電車の顔」



n 前田 貴(まえだ たかし)

t 「スーパー北斗」



n 前田 聡男(まえだ としお)

t 「無題」



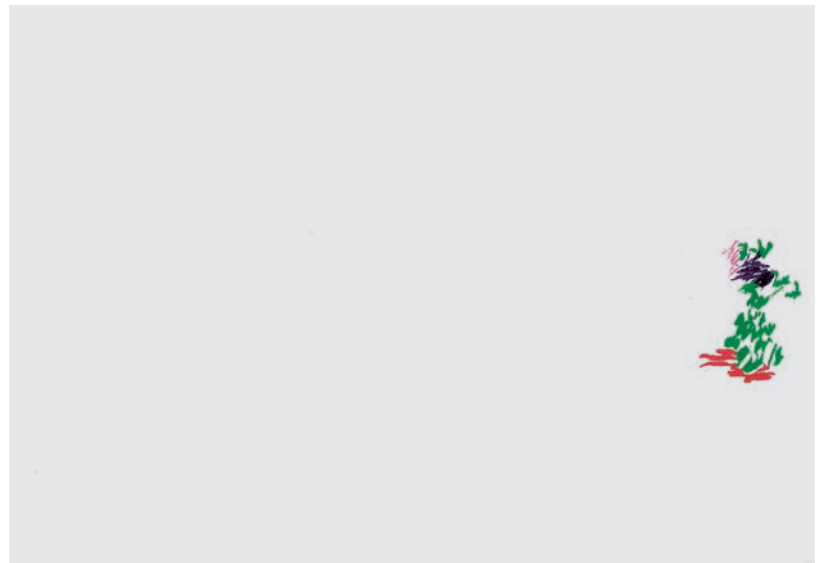
n | 松崎 悠希 (まつざき ゆうき)

t | 「無題」



n | 松田 良雄 (まつだ よしお)

t | 「無題」



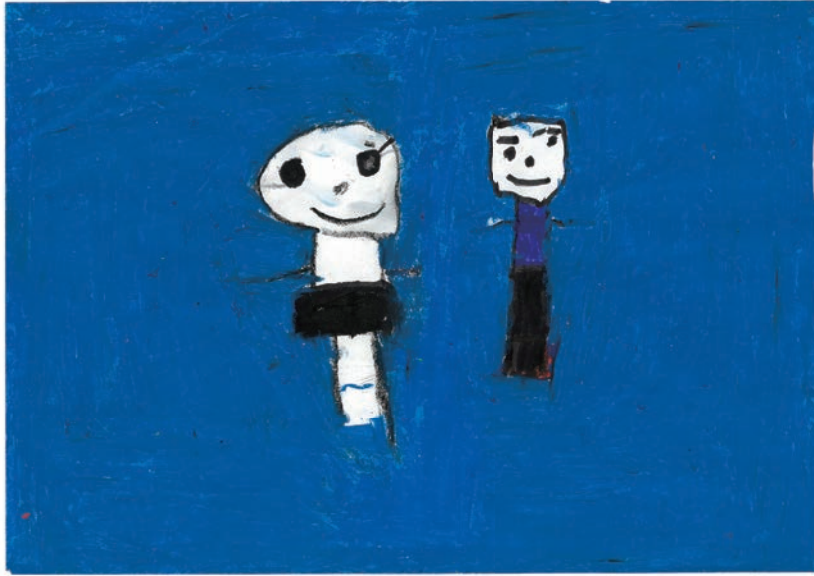
n 緑川 悠貴(みどりかわ ゆうぎ)

t 「スパゲティ」



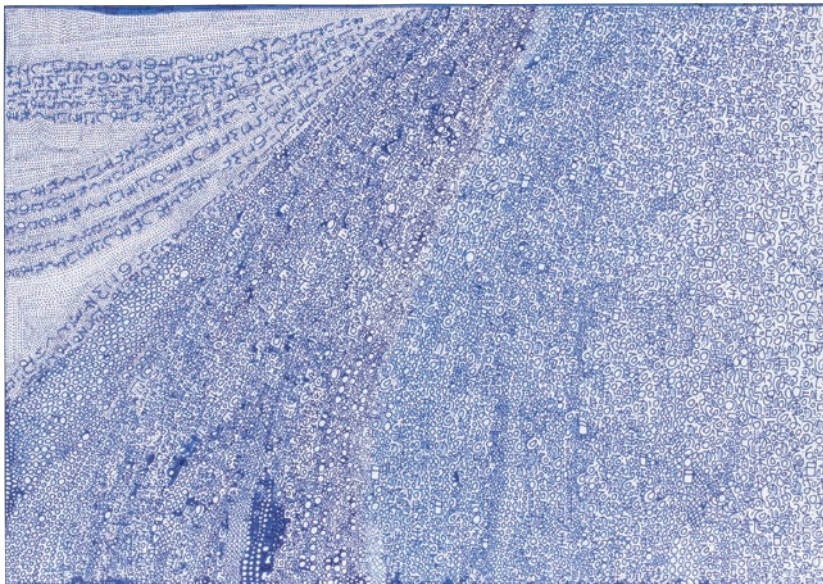
n 宮澤 武雄(みやざわ たけお)

t 「土地はものを言う」



n 森川 里緒奈(もりかわ りおな)

t 「文字」



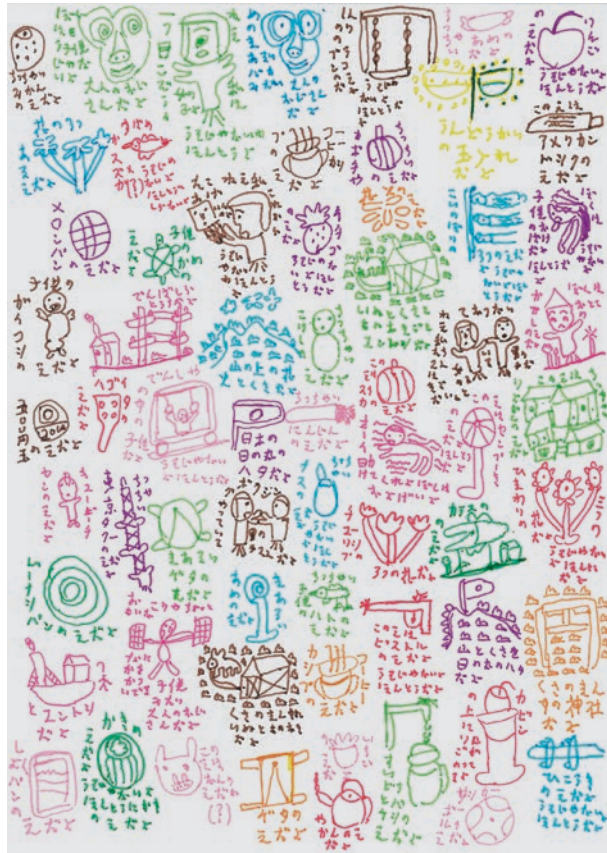
n 箭内 裕樹(やない ゆうき)

t 「Untitled」



n 山口 敏夫(やまぐち としお)

t 「無題」



n 山口 由紀子(やまぐち ゆきこ)

t 「家」



n ヤマダジュンヤ

t 「うたうヒト」



n 山田 麻紀子 (やまだ まきこ)

t 「心のメロン」

n 横井 雅美(よこい まさみ)

t 「青い電車EF58」



n 横田 和明(よこた かずあき)

t 「無題」



n 吉川 千晶 (よしかわ ちあき)

t 「Untitled」



n 樹 (いつき)

t 「無題」





n 渡邊 あや(わたなべ あや)

t 「飛行機」



n

t

展示協力施設

(医) アカシア会 三郷市障がい福祉相談支援センターバティオ

(医) 双里会

(一社) 朗真堂

(公社) やどかりの里

(株) 日本クリード じゅびたー

(株) ライフエール ほーぶ

(社福) 愛弘会

(社福) ウイング

(社福) 皆成会 光の園

(社福) 川の郷福祉会おれんじ

(社福) 久美愛園

(社福) 啓和会

(社福) けやきの郷

(社福) 埼玉県ブルーバードホーム

(社福) さくら草

(社福) ささの会

(社福) 杉風会

(社福) 彩濃会

(社福) 昂

(社福) 清心会

(社福) 戸田わかさ会

(社福) 新座市障害者を守る会

(社福) 本庄ひまわり福祉会

(社福) 美里会

(社福) 皆の郷

(社福) みぬま福祉会

(社福) めだかすとりいむSELPすいーつばたけ

NPO法人あすなろ会 事業所あすなろ

NPO法人織の音アート福祉協会 織の音工房

NPO法人ハローハンディキャップタイム

NPO法人ひこうせん

NPO法人松ぼっくりの会

NPO法人メリーハーモニー

NPO法人ゆめたまご

NPO法人ゆりかご

NPO法人ラッコの会

埼玉県社会福祉事業団あげお

埼玉県社会福祉事業団嵐山郷

ふじ支援センター

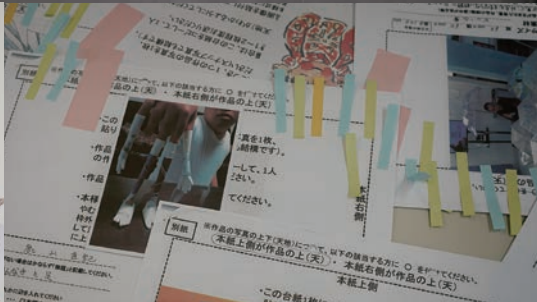
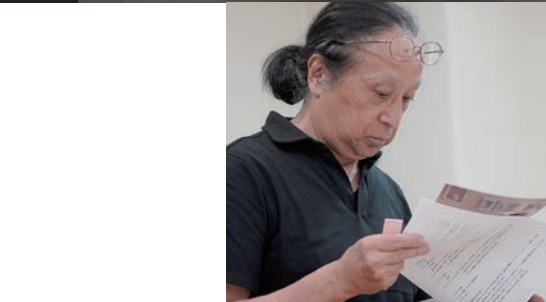


選考会

「埼玉県障害者アート企画展」では、調査票（作品画像）をもとに作品選考を行っており、毎年、他に類を見ない多彩でユニークな出展作品がそろいます。また、その選考には、美術の専門家だけでなく福祉施設の職員をはじめ弁護士、行政職員なども参加して、様々な視点を交えてディスカッションしている点も大きな特徴です。2019年度は、総勢84名で約650の調査票から135名の出展作家を選出しました。

選考会ではまず、各自持ち票分の付箋を気に入った作品（調査票）に貼り、得票順に出展作家をある程度絞った時点で意見を交わし、残りの出展作家を選んでいきます。それぞれ気になる作品について、どこが好きか、何が気になるのかを自由に語ります。その発言から作品の魅力が見えてきたり、議論が深まったり……。

作者を知る施設職員が、作品ができた様子や背景、作者のこだわりや障害特性などを語ることも多く、それが日頃、作品だけを見て評価している美術の専門家には、自身の判断や固定観念を揺るがす刺激に。また、施設職員にとっては、専門家の評価から、作品を読み取る視点や感性を学び、自身の視点や感じたことを言葉にする機会になっています。そのアートと福祉の視点の交錯によって毎年、新たな発見や気づきが生まれ、またそこから「人間にとって表現とは何か」「何がアートなのか」を考える豊かな時間が生まれています。



selection

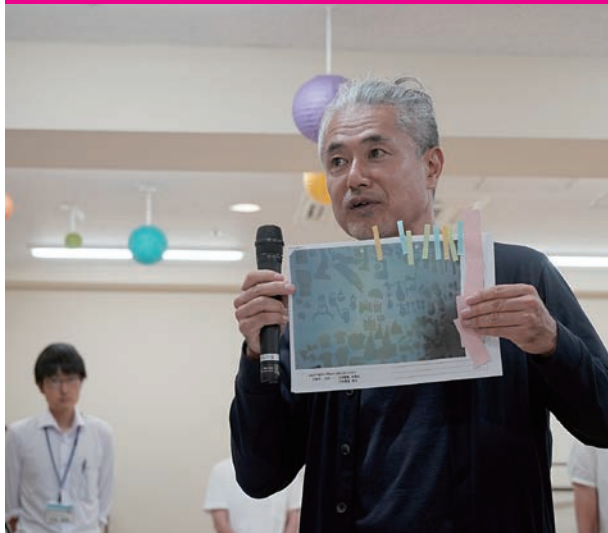
[2019年度 選考委員]

中津川浩章 (美術家、アートディレクター)、小澤基弘 (埼玉大学教育学部教授／絵画及び美術教育、画家)、酒井道久 (彫刻家、埼玉県立大学名誉教授)、前山裕司 (新潟市美術館館長)、岩本憲武 (弁護士／モックンバード法律事務所)、山口里佳 (コーディネーター／con*tio)、杉千種 (同左)、水川史生 (デザイナー)、武居智子 (ライター)、埼玉県福祉部障害者福祉推進課4名、福祉施設職員70名、学生1名





discussion



アートと福祉の視点が交錯



第10回埼玉県障害者アート企画展 作品集

デザイン

水川 史生 (en design studio)

撮影

今井 紀彰 (作品)、水川 史生 (選考会)

編集・発行

社会福祉法人みぬま福祉会

アートセンター集

333-0831 埼玉県川口市木曾呂1445 (工房集内)

電話：048-290-7355

<http://artcenter-syu.com/>

発行日

2019年12月4日

©社会福祉法人みぬま福祉会

Knock
art 10